

[サイディングボード下地(艶有仕上げ)]

工程	材料・調合	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	サイディングボードの補修を行い、エフロレッセンス、ゴミ、砂塵、油脂分などの付着物はワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去してください。高圧洗浄機にて水洗いし乾燥した清浄な面とします。				
上塗り	キクスイSPパワーフツ素クリヤー (艶有)	主 材:12kg 硬化剤:3kg 塗料用シンナー-A:0~6L	はけ、ウールローラー エアレススプレー 等	2	工程内 4以上 54~62㎡/15kg 0.24~0.28kg/㎡

注1) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法・下地の形状によって異なります。旧下地の種類によっては、下塗りが必要な場合があります。
注2) 塗料用シンナー-Aは、弊社推奨品をご使用ください。その他のシンナーを使用した場合はちぢみや再溶解等の不具合が発生する恐れがあります。

[サイディングボード下地(3分艶仕上げ)]

工程	材料・調合	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	サイディングボードの補修を行い、エフロレッセンス、ゴミ、砂塵、油脂分などの付着物はワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去してください。高圧洗浄機にて水洗いし乾燥した清浄な面とします。				
上塗り(1回目)	キクスイSPパワーフツ素クリヤー (艶有)	主 材:12kg 硬化剤:3kg 塗料用シンナー-A:0~6L	はけ、ウールローラー エアレススプレー 等	1	工程間 4以上 107~125㎡/15kg 0.12~0.14kg/㎡
上塗り(2回目)	キクスイSPパワーフツ素クリヤー (3分艶)	主 材:12kg 硬化剤:3kg 塗料用シンナー-A:0~6L	はけ、ウールローラー エアレススプレー 等	1	- 107~125㎡/15kg 0.12~0.14kg/㎡

注1) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法・下地の形状によって異なります。旧下地の種類によっては、下塗りが必要な場合があります。
注2) 上塗り(1回目)は必ず艶有をご使用ください。艶調整品は白ぼけの原因となります。
注3) 凹凸が大きい下地では、塗膜に厚みが出て艶が消えにくいことがあるため、施工は控えてください。
注4) 塗料用シンナー-Aは、弊社推奨品をご使用ください。その他のシンナーを使用した場合はちぢみや再溶解等の不具合が発生する恐れがあります。

[磁器質タイル下地(艶有仕上げ・3分艶仕上げ)]

工程	材料・調合	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	エフロレッセンス、ゴミ、砂塵、油脂分などの付着物はワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去してください。汚染がひどい場合は、タイル用薬剤などで洗浄を行い、高圧洗浄機にて水洗いし乾燥した清浄な面とします。				
吸水調整	シランコートT	主 材:3kg 無希釈	はけ、ウールローラー	1	工程間 4以上 30~60㎡/3kg 0.05~0.1kg/㎡
上塗り	上記サイディングボード下地の上塗りに準ずる。				

注1) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法・下地の形状によって異なります。
注2) 上塗り(1回目)は必ず艶有をご使用ください。艶調整品は白ぼけの原因となります。
注3) 大理石、ラスタータイル等特殊なタイルは、付着しにくいので試し塗りで付着を確認の上ご使用ください。

材料の混ぜ合わせ

- ①主材と硬化剤の混合比を厳守し、右表に示す割合のシンナーを加え均一に薄めてください。希釈には弊社推奨の「塗料用シンナー-A」を使用してください。
- ②可使時間は、6時間(20℃)とします。可使時間を過ぎた材料は使用しないでください。

施工方法	希釈率(%)	希釈量(L) / セット
ウールローラー、刷毛	0~10	0~1.5
エアレススプレー	5~15	0.7~2.3
エアスプレー	15~40	2.3~6

適 応 下 地

サイディングボード各種・磁器質タイル(施釉、無釉)・石材調塗材



注1) シーリング面は、塗膜の汚染・剥離などの不具合を起す場合があるため施工しないでください。

荷 姿

- キクスイSPパワーフツ素クリヤー 15kgセット(主材:12kg/缶、硬化剤:3kg/缶)
3kgセット(主材:2.4kg/缶、硬化剤:0.6kg/缶)
- 塗料用シンナー-A 16L/缶
- シランコートT 3kg/缶

注 意 事 項 (クリヤー上塗材)

<p>【施工上の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水洗い後は晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。下地の乾燥が不十分の場合、塗膜の白濁等水分の影響による外観上の不具合が自立やくすくなります。 ○内部での施工の場合、汚染物の除去は水を含ませた清潔な布で拭き取り、乾いた布で乾かきして乾燥させてください。汚れがひどい場合は水で中性洗剤を薄めて拭き取ってください。 ○下地の劣化が著しい場合、施工は避けてください。 ○経年したサイディングボード面の塗装は、表層内劣化部分から剥離する恐れがあります。試験施工を行って付着性の確認を行ってください。 ○無機塗料、特殊下地の塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。 ○合成皮革、ゴムパッキン、軟質塩化ビニル製品、などは、塗膜との接触を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きます場合があります。 ○蓄熱しやすい建材(軽金属タイル、ALC、窯業系サイディング、発泡レタン使用建材など)に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談ください。 ○シーリング材の上には、塗装をしないでください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがあります。 ○大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、施工を避けてください。 ○塗膜の乾燥過程で水分の蒸気を受け付けた場合、高温湿気、結露、降霜等)塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高温湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。 ○外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。 ○地えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。 ○直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。 ○施工時は換気を十分に行ってください。 ○施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。 ○施工面とその周辺(車や付帯設備を含む)や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。 ○乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水が当たらないようにしてください。 ○塗料は、ミキサーで均一に混ぜ合わせて使用してください。溶剤形塗料の場合は防塵型ミキサーを使用してください。 ○開缶後は、早めに使用してください。 ○二液反応硬化形の材料は、主材と硬化剤を指定の比率で混合し、ミキサー(溶剤形塗料の場合は防塵型)で混ぜ合わせて使用してください。特に小分けで使用する場合、計量器を用いて計量を行ってください。混ぜ合わせた後の材料は、可使用時間内に使い切ってください。また、可使用時間は温度、希釈などの条件により変わりますので、注意してください。 ○材料の希釈量は所定の量より、所定の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定してください。希釈の過多、不足はダレや硬べい・不足、仕上がりの原因になります。 ○各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。 ○下塗材に、エポキシ樹脂塗料は使用しないでください。変色、剥離の可能性があります。 ○色、模様の設定に当たっては事前に見本板で確認してください。 ○被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより塗膜の色、質感、乾燥時間、養生の要否が異なります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗膜・箇所でも起る場合があります。特につや調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りの上、本施工してください。 ○既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でタンナー合わせを行ってください。 ○ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。 ○傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用で使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同口径、同一方法で補修してください。 ○他の材料と混合して使用しないでください。 ○使用後は刷毛やローラーなどは十分に洗浄してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○下塗材及び上塗材に溶剤形の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。 ○温気硬化形の材料は、開缶後は空気中の水分と反応しますので速やかに使用してください。また、シンナーにより密着を行ってください。 ○塗装後は、濡れ色になり既着色より濃くなる場合があります。特に、下地の劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきが発生します。試験施工を行い、仕上がりを確認してください。 ○つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。 ○つや調整品は、下地の形状、状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際の艶と違って見える場合があります。事前に試し塗を行い、確認してください。 ○つや調整品は、塗料が分離しやすいので、良く混ぜ合わせながらご使用ください。 ○防塵、防カビ効果は、緊縮を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては、防塵、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。 ○施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りや水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。 ○改修工事の場合、下地を復し既存塗膜に膨れ・縮み(リフティング)などの異常が発生することがあります。事前に試し塗りをし確認してください。特に、2液反応硬化形溶剤形塗料での改修において、既存下地が塗料用シンナーで容易に溶解する場合、縮みや膨れが発生する恐れがあるため、塗装は避けてください。 ○磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗表面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスクングを行ってください。 ○直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。 ○硬化剤は、湿気や硬化しますので密着をして貯蔵してください。 ○建築用仕上塗材(JS A 6909) 複層塗材および可とう形改修塗材は、下塗材・主材・上塗材を同一メーカーの指定された製品を使用しないと、JIS規格品とはなりません。 <p>【安全衛生上の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート:旧MSDS)を参照してください。 ●取扱後は手洗い、うがいを十分に行なってください。 ●適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。 ●火花を発生しない工具を使用してください。 ●屋外または換気の良い場所でのみよ、火気厳禁してください。 ●必要な時間以外は、環境への放出を避けてください。 ●溶剤形製品の混ぜ合わせは、防塵型ミキサーにて行ってください。また、必ずアースを取ってください。 ●火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。 ●目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。 ●誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。 ●皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。 ●粉じん、揮発物等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。 ●使用後保管する際は無希釈の状態ですっかり密着して40℃以上の場所では保管しないでください。できる限り早く使用してください。 ●日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。 ●保管場所、取り扱い場所とその周辺には、塗装中、乾燥中共に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。取扱いは、法令に沿って保管を行い、特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短時間引火性の高い蒸気が発生します。注意してください。 ●合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。 ●子供の手の届かない所に保管してください。 ●塗料、塗装器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に影響を及ぼす場合がありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。
--	---



菊水化学工業株式会社

本社/名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎052-300-2222(代)

ホームページ <http://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎ 022-706-5710 関西支店 ☎ 06-7668-5320
東京支店 ☎ 03-3981-2500 福岡支店 ☎ 092-935-4610
名古屋支店 ☎ 0568-69-5200

キクスイSPパワーフツ素クリヤー

サイディングボード各種・磁器質タイル・石材調塗材用

Kikusui
SP
Power
Fluorine
Clear

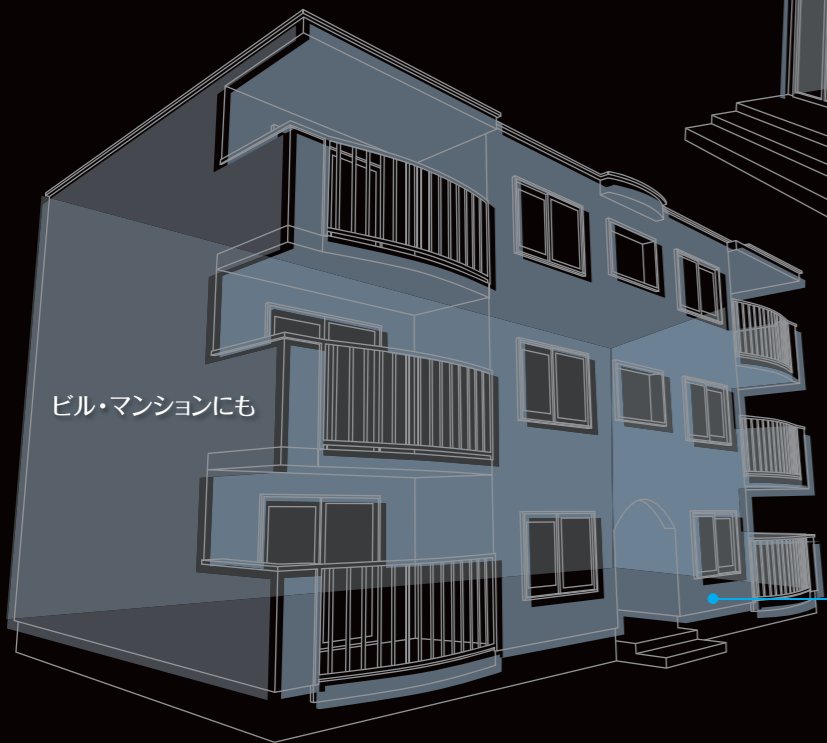
進化を続ける キクスイSPパワーフッ素クリヤー

サイディングボード各種・磁器質タイル・石材調塗材用

高耐久性・超低汚染性・UVカットを兼ね備えたフッ素のパワーが、外壁の美しさを長期にわたり守ります。

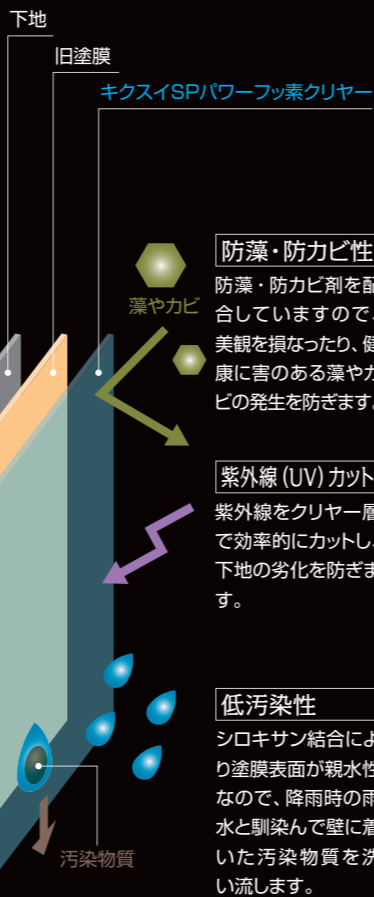
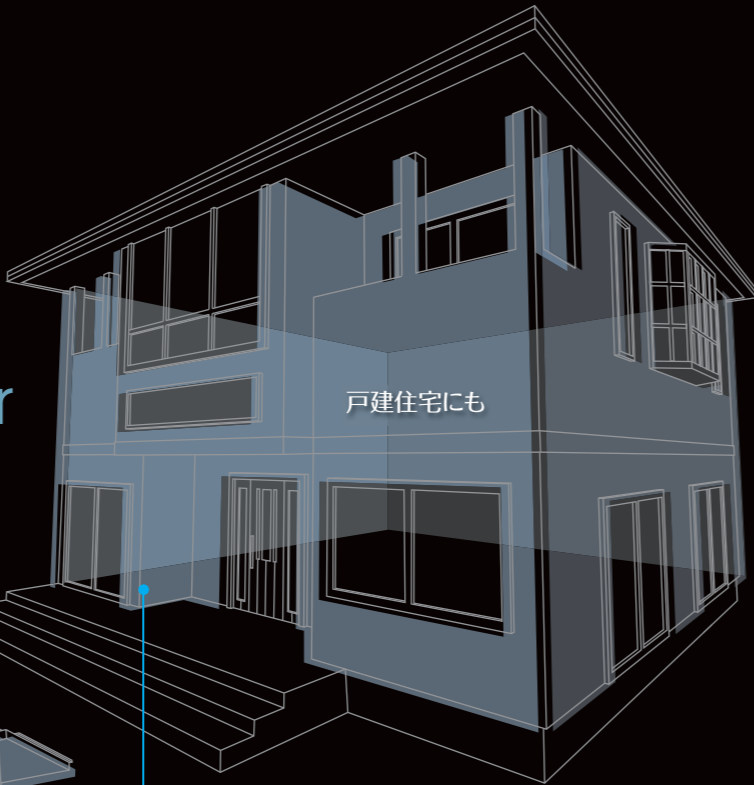
F☆☆☆☆ NSK-1608007
2液弱溶剤形オールマイティー
ふっ素樹脂クリヤー

Kikusui SP Power Fluorine Clear

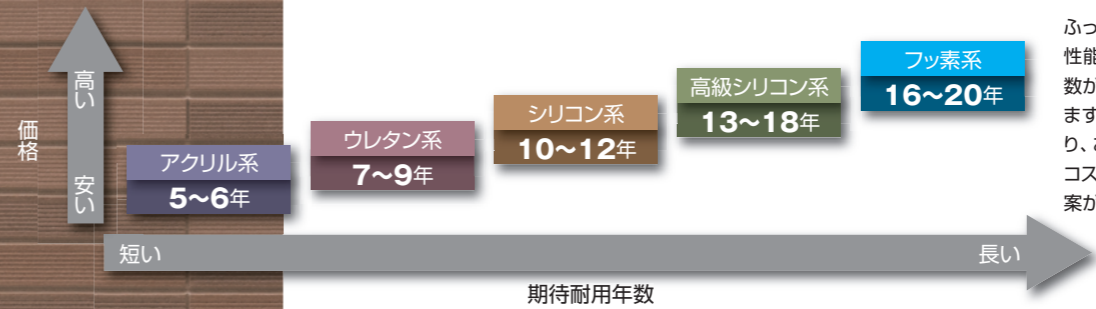


住まいの外壁は、紫外線、熱、雨風など様々な環境要因で年月と共に塗膜が劣化していきます。劣化を放置しておくで建物の老朽化を進めてしまいますので、早めの改修が大切な建物の寿命を延ばすポイントです。一般にアクリル系樹脂塗装であれば5~6年の期待耐用年数とされ、居住年数を考えると改修回数が少なくすむとは言えません。

「キクスイSPパワーフッ素クリヤー」は優れた低汚染性を発揮する「シリコン樹脂」と抜群の耐候性を発揮する「ふっ素樹脂(4フッ化フッ素樹脂)」を配合、サイディングボードや上塗り塗装の上にクリヤーを塗布することで長期にわたり外壁の耐候性や美観を保つことができます。



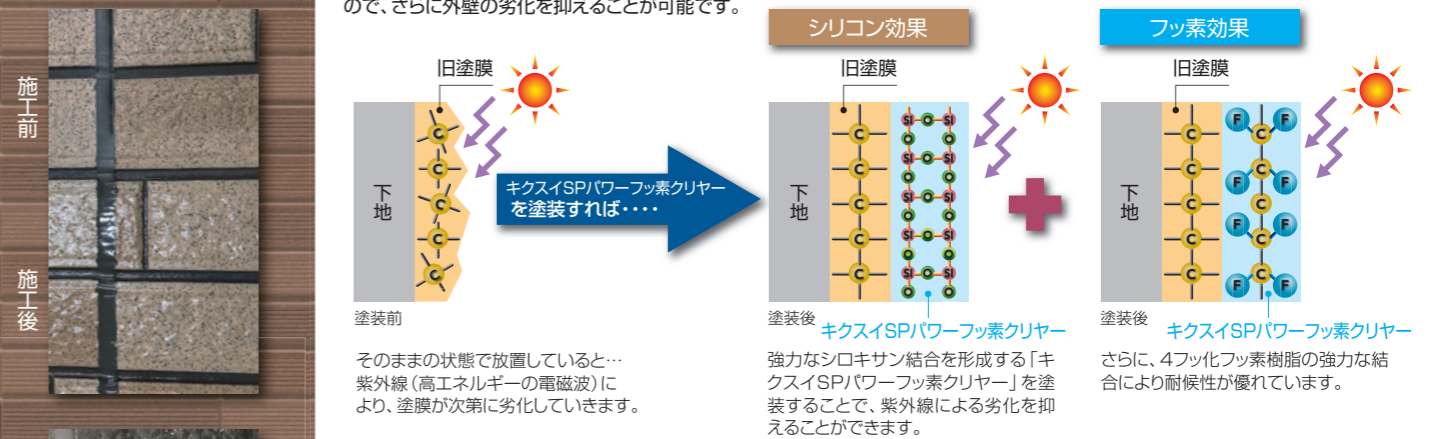
外壁塗料の期待耐用年数



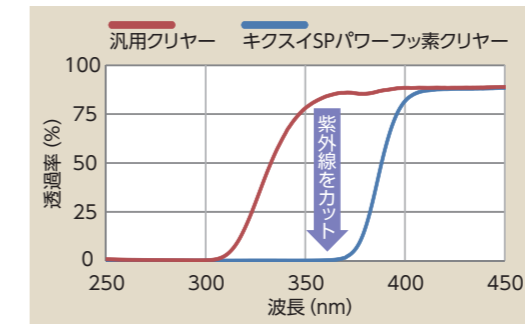
ふっ素樹脂塗料は、そのハイレベルな性能上割高になりますが、期待耐用年数が長いので改修回数は少なく済みませす。さらに当社独自の技術開発により、お求め易くなりました。ランニングコストをポイントにご満足いただける提案が可能です。

クリヤー塗装で表面の保護・光沢の復活

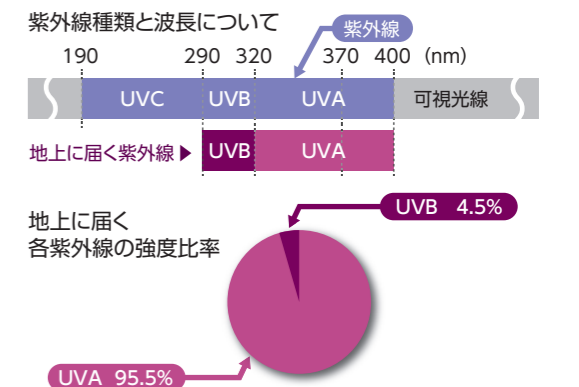
日々、紫外線や酸性雨などにより少しずつ劣化してしまいう壁は「キクスイSPパワーフッ素クリヤー」を塗って保護・光沢の復活ができます。シリコンだけでなく、さらに上回るふっ素樹脂を含んでいるので優れた耐候性を発揮。また、紫外線吸収剤を配合しているので、さらに外壁の劣化を抑えることが可能です。



キクスイSPパワーフッ素クリヤーと汎用クリヤーとの紫外線透過特性の比較



紫外線は、地球に到達する太陽光線のうち、通常190~400nmの波長の光線を指し、波長の短い方から、UVC:290nm以下、UVB:290~320nm、UVA:320~400nmに分類されます。このうちUVCについては、オゾン層で遮られ地上には到達しません。地上に到達して塗膜劣化の原因となる紫外線は、UVBとUVAです。その中でも、地上に到達する光のエネルギーの強度比率でみると約95.5%がUVAとなります。キクスイSPパワーフッ素クリヤーは、UVBに加えUVAが下地に透過するのを効果的にカットし、外壁の劣化を防ぐことができます。



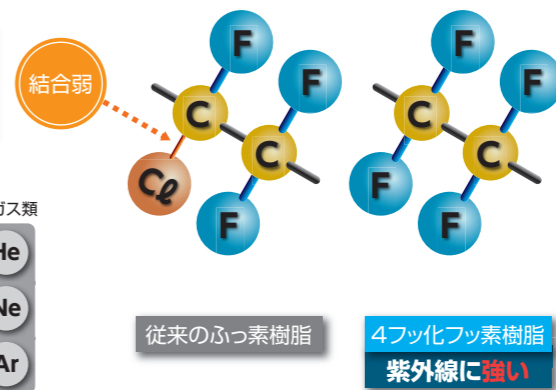
4フッ化フッ素樹脂の採用

フッ素は元素記号Fで表わされます。周期表の中で最右列の希ガス類を除いて、右上にいくほど他の元素と強い結合をしますので、フッ素を用いた結合はとも強力です。

周期表(元素記号)

H	Li	Be	B	C	N	O	F	He
Na	Mg	Al	Si	P	S	Cl	Ar	

希ガス類



4フッ化フッ素樹脂は日常生活の中ではすでにいろいろな分野で使用されています。しかし、フライパンなどに使用する場合は、熱を加えて加工するものであり、常温で4フッ化フッ素樹脂を使用することは困難でした。しかし、近年の塗料技術の向上により、常温の塗料にも4フッ化フッ素樹脂を取り入れることに成功いたしました。従来のふっ素樹脂塗料に比べて表面張力が低いため、汚染に強く、C-Fの強い結合力によって非常に耐候性に優れた、ふっ素樹脂塗料です。